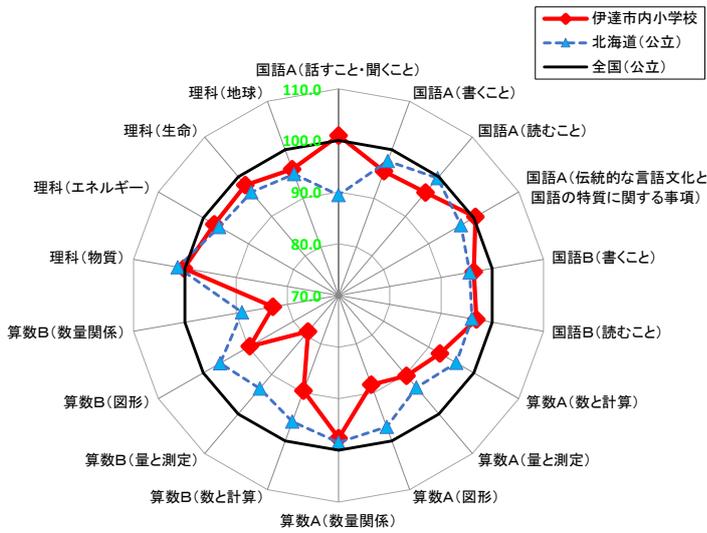


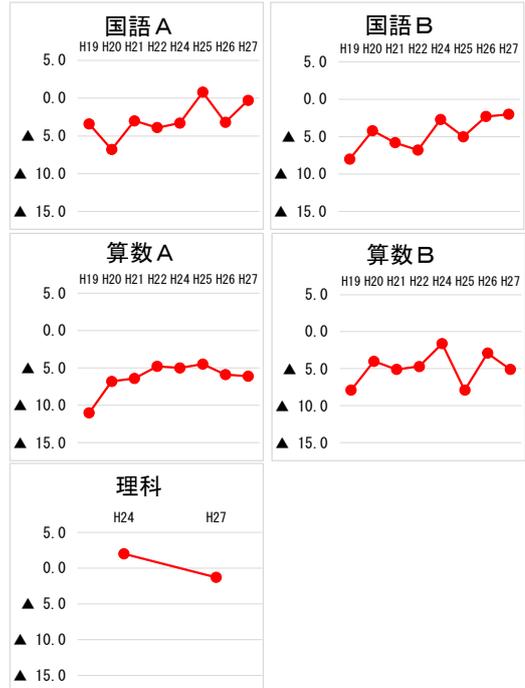
伊達市内小学校の状況及び学力向上策(学校数:9、児童数:269名)

【教科全体の状況】

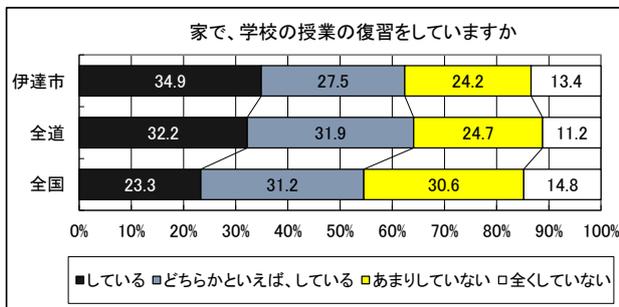
教科の領域別に全国を100とした場合の全道及び市町村の状況をレーダーチャートで示したもの
 (市町村の平均正答率÷全国(公立)の平均正答率×100で算出)



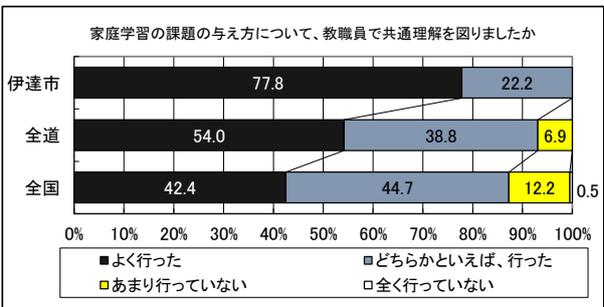
【平均正答率の全国との差の推移】



【児童質問紙調査】



【学校質問紙調査】



【分析】

教科	<ul style="list-style-type: none"> ○ 全ての教科で全国を下回っている。 ○ 国語Aでは「話すこと・聞くこと」、「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」で、全国及び全道を上回っている。 ○ 理科では「物質」で全国を上回っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 分科会形式の市教育実践交流会や研修会において、家庭学習の重要性について理解を深めるとともに、各学校における家庭学習の取組についての交流を行ったことにより、「家庭学習の課題の与え方について、教職員で共通理解を図った」と回答した学校の割合が、全国及び全道を上回ったと考えられる。 ○ 各学校において学力・学習改善プランを策定し、児童に学習習慣を身に付けさせる取組を充実させたことにより、児童の学習習慣が身に付き、「家で、学校の授業の復習をしている」児童の割合が全国及び全道を上回ったと考えられる。
児童質問紙	○ 家で、学校の授業の復習をしていると回答した児童の割合が、全国及び全道を上回っている。	
学校質問紙	○ 家庭学習の課題の与え方について、教職員で共通理解を図ることを「よく行った」と回答した学校の割合が、全国及び全道を上回っている。	

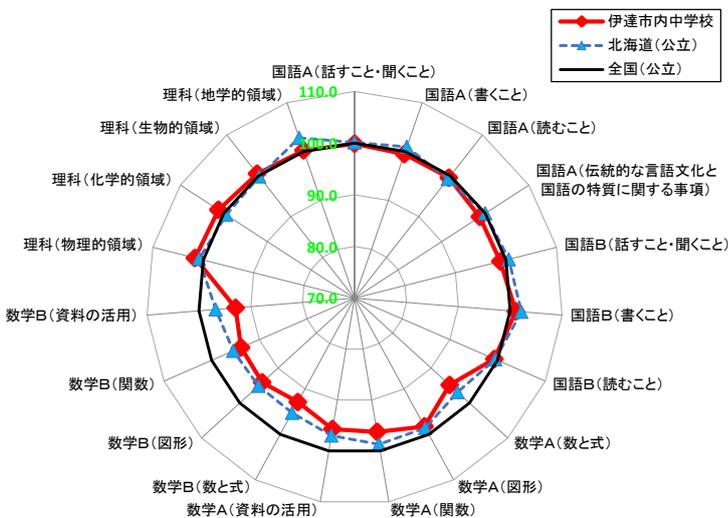
【伊達市の学力向上策】

- ◎ 伊達市学力テストの実施
- ◎ 学校ごとの学力・学習改善プランの策定
- ◎ 分科会形式の伊達市教育実践交流・研修会の実施
- ◎ 研究校を指定した公開研究会の実施

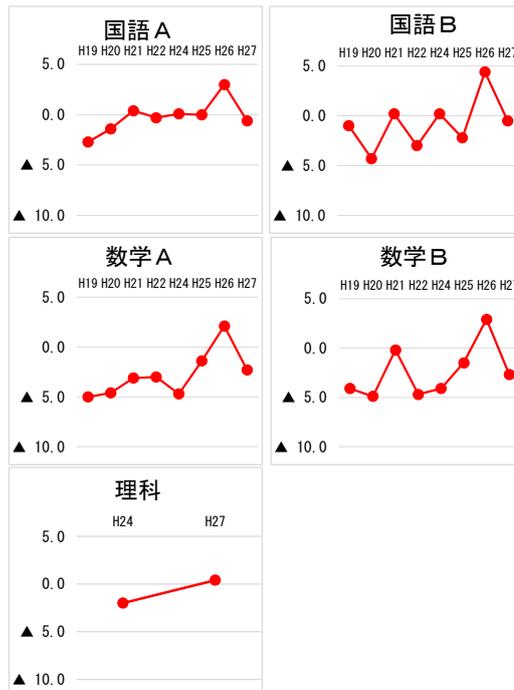
伊達市内中学校の状況及び学力向上策(学校数:4、生徒数:269名)

【教科全体の状況】

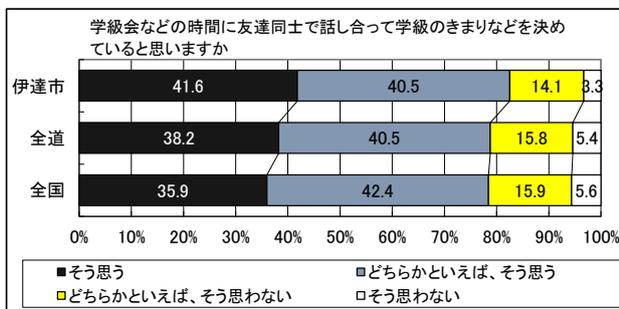
教科の領域別に全国を100とした場合の全道及び市町村の状況をレーダーチャートで示したもの
 (市町村の平均正答率÷全国(公立)の平均正答率×100で算出)



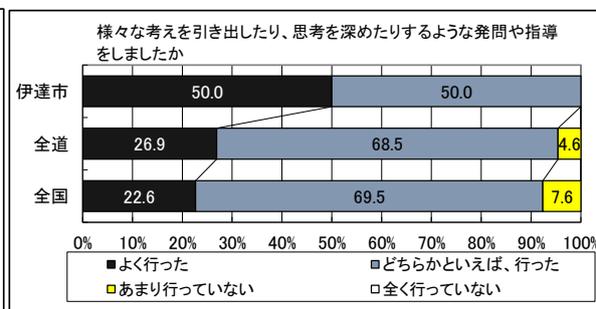
【平均正答率の全国との差の推移】



【生徒質問紙調査】



【学校質問紙調査】



【分析】

教科	<ul style="list-style-type: none"> ○ 理科では、全国を上回り、国語A・Bでは、全国とほぼ同様になっている。 ○ 国語Bでは「書くこと」、理科では全ての領域で、全国を上回っている。 ○ 国語Aでは「話すこと・聞くこと」、「書くこと」、「読むこと」、Bでは「読むこと」で、全国とほぼ同様になっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 様々な考えを引き出したり、思考を深めたりするような発問や指導をしていることにより、教科だけではなく特別活動等の時間も充実し、学級会などの時間に友達同士で話し合っ ○ 各学校において、学力・学習改善プランを策定するとともに、伊達市学力テストを実施することで、基礎的・基本的な知識・技能の定着が図られ、理科の4領域は全国を上回り、国語A・Bにおいても全国の平均正答率とほぼ同様になったと考えられる。
生徒質問紙	<ul style="list-style-type: none"> ○ 学級会などの時間に友達同士で話し合っ 	
学校質問紙	<ul style="list-style-type: none"> ○ 様々な考えを引き出したり、思考を深めたりする 	

【伊達市の学力向上策】

- ◎ 伊達市学力テストの実施
- ◎ 学校ごとの学力・学習改善プランの策定
- ◎ 分科会形式の伊達市教育実践交流・研修会の実施
- ◎ 研究校を指定した公開研究会の実施